

2月4日、平成27年度 渋沢栄一ビジネス大賞 奨励賞を受賞した。

セルロースナノファイバー（CNF）を製造するために用いられる、超微粒粉碎機スーパーマスコロイダーの開発を評価していただいたの受賞だ。紙を作る際の原料となるパルプを10～20ナメートル（髪の毛の1万分の1位）の超微細繊維に粉碎する装置だが、物理的にここまで細かくすることができる粉碎装置は、世界広といえども数えるほどしかない。

経産省の見立てでは2030年にはCNF市場は1兆円を越えると試算されていることもあり、カーボンナノファイバーに続く日本の戦略的産業に育てようと力を入れている。

CNFは鋼鉄の五分の1の重量と5倍の強度、そしてガラスよりも低い歪率という優れた特性を持っており、自動車のボディーや飛行機の内装材、植物由来の透明シートや次世代有機ELディスプレイ、化粧品原料、その他工業用 等々・・・その用途は無限大だ。当面の課題は大量生産できる装置の開発・・・1件の商談で現在の年商を越える規模になることも容易に予想され、夢とやりがいのある仕事に従事できることに感謝している。



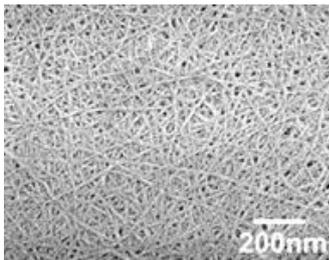
パルプ（ナファイバー集合体）

水



スーパーマスコロイダー

※ 写真は京大生存圏研究所の発表資料より



顕微鏡写真（木材由来）



CNF

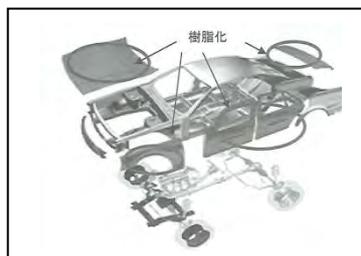
開発製品の一例



樹脂成型体



曲がる有機ELディスプレイ



自動車ボディー



植物由来の透明シート